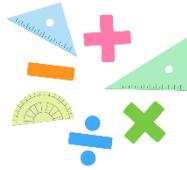




# 粟 小だより



## 增刊号

令和7年10月

## 書籍：十一月 敦賀市立粟野小学校



4月17日、23日に小学6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。今年度は国語・算数・理科の調査と質問紙による調査が行われました。その結果と分析から見えてきた、本校児童の特徴と課題についてお知らせいたします。



## 「教科に関する調査」の結果から

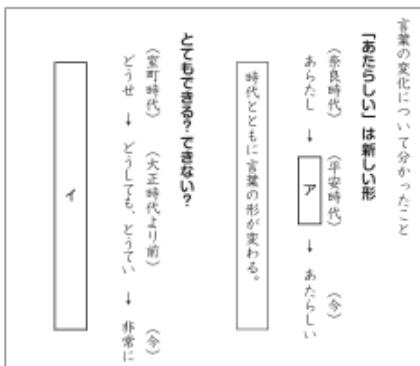
国語・算数・理科ともに、よくできている設問がある一方で、学習状況を見直すと、いくつかの重要な課題が浮かび上がってきました。これらの課題に対しては、具体的な支援が必要です。結果を分析し、今後の対策をまとめました。

## ★国語

成果が表れている力	課題となる力
<p><u>話すこと・聞くこと</u></p> <p>◎話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる力。</p> <p>○集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する力。</p>	<p><u>読むこと</u></p> <p>▲目的に応じて、文章と図表等を結び付けるなどして必要な情報を見付ける力。</p> <p>▲文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力。</p>
<p><b>支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の情報を比較して自分の考えをまとめて条件を設定し、それに沿って表現したり、言語化したりする活動を取り入れた授業づくりを行います。</li> <li>・文章を読んで整理した情報を一文にまとめたり、要旨を把握したりする活動の充実を図ります。</li> </ul>	

## 課題

### となつた問題



- (2) まことに、木村さんのお手紙を、資料2の中から書きぬきましょう。

1 「木村さんのメモ」のイに当てはまるもの、資料3を読み、次の1から4までのなかから一つ選んで、その番号を書きましょう。

2 時代とともに言葉の意味が変わるもの、時代とともにものを使い方が変わるもの、時代によってものの呼び方がちがうもの、世代によって言葉の使い方は変わらないもの。



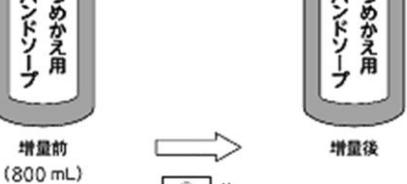
木村さんは、資料1を読み、言葉は年月とともにどのような変化をするのか調べたいと思いました。そこで、次の資料2と資料3を読み、分かったことをあとの「木村さんのメモ」に整理しています。これらをよく読んで、あとの(1)と(2)の問い合わせに答えましょう。



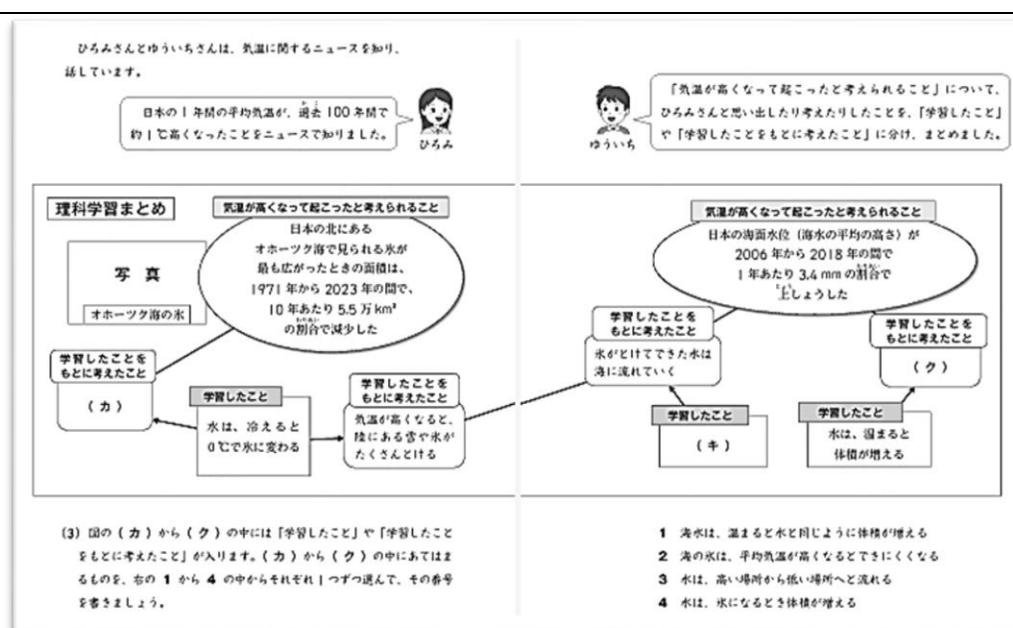
## ★算数

成績が表れている力	課題となる力	課題
<u>図形</u> ◎角の大きさについて理解する力。 ○台形の意味や性質について理解する力。 <u>測定</u> ○はかりの目盛りを読み取る力。	<u>変化と関係</u> ▲「〇%増量」「〇%引き」等の意味を解釈し、くらべる量がもとにする量の何倍かを表す力。 <u>データの活用</u> ▲目的に応じて適切なグラフを選択して量の増減を判断し、その理由を記述する力。	
<b>支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>算数的活動と日頃の生活をつなげ、算数的事象がイメージしやすい授業づくりを行います。</li> <li>考え方や考えた根拠を言葉や数を使って論理的に説明する活動を増やします。</li> </ul>	<p>(4) 家に帰ったあさひさんは、つめかえ用のハンドソープがのっている広告を見ました。</p> <p>広告には、つめかえ用のハンドソープが「10%増量」と書かれています。</p>	

## ★理科

<p><b>成果が表れている力</b></p> <p>「エネルギー」を柱とする領域</p> <p>◎電磁石の強さは巻数によって変わることの知識。</p> <p>「生命」を柱とする領域</p> <p>○実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現する力。</p>	
<p><b>課題となる力</b></p> <p>課題</p>	
<p>「地球」を柱とする領域</p> <p>▲結果を基に結論を導いた理由を表現する力。</p> <p>▲理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解する力。</p>	<p>増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。上の○にあてはまる数を、下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。</p> <p>1 0.1 2 1.1 3 10 4 110</p>

## 課題 となつた問題

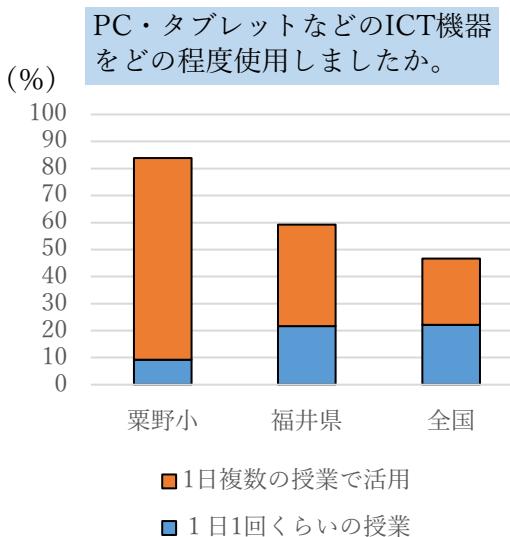




## 「質問紙」の結果から

■あてはまる  
■どちらかといえばあてはまる

### ★年々向上していることは…



これまでの授業の中で、PCやタブレットなどのICT機器を頻繁に使用してきました。その結果、児童たちは自分のペースで理解を深めながら学習を進めることができます。また、ICT機器を活用することで、自分の考え方や意見を分かりやすく伝えるスキルも向上しています。さらに、友達と考えを共有したり比べたりすることが容易になり、協力しながら学習を進める機会も増えました。ICT機器の活用は、児童たちの学習効率を高めるだけでなく、コミュニケーション能力や協力する力の向上にも寄与しています。

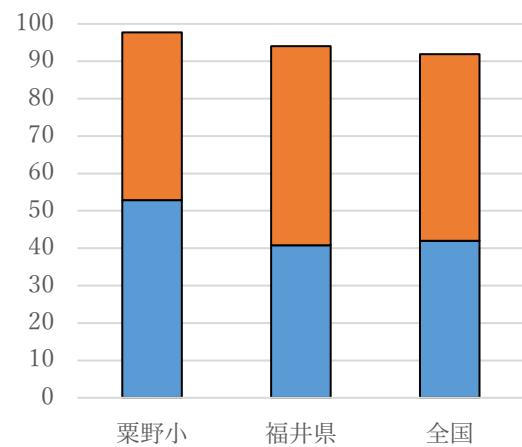


児童たちは授業や学校生活で友達や周りの人の考え方を大切にしていることが分かります。そして、ペアやグループの仲間と力を合わせながら、課題の解決に向けて、自発的に取り組む力が身についてきています。

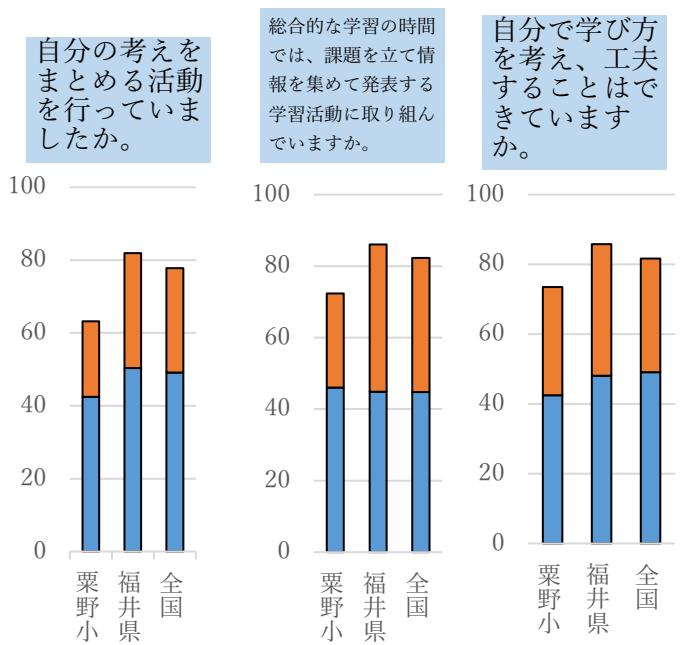
学級では、友達との話し合い活動を通じて自分の考え方を深めたり、新たな視点を発見したりしています。また、話し合いの場面では、互いの意見を尊重し合い、力を合わせて解決策を見つけています。

そのような学びの中で、仲間の存在を喜び、円満な関係も築けているようです。

お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。



### ★課題は…



授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考え方をまとめる活動が十分ではないようです。また、総合的な学習の時間では、自分で課題を設定し、情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動が不足していることも分かりました。

また、分からぬことやくわしく知りたいことがあっても、自分から学び方を考えたり工夫して学んだりすることにも課題があることが分かりました。

これらの結果から、授業や単元の後半に自分の考え方をまとめて発信する時間を確保したり、自らで学び方を考える機会を増やしたりすることが、今後の改善ポイントとして挙げられます。

※問題はいずれも、「令和7年度全国学力・学習状況調査の調査問題」(国立教育政策研究所)

(<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>) を加工して作成